就任の挨拶

平成28年度会瀬学区内関係者異動、役員など変更がありましたのでご紹介します。

【敬称略】

日立市立助川中学校
校長　鈴木 洋一

平成二十八年度定期人事異動により、県北教育事務所から創立七十年の節目を迎える助川中学校に赴任して参りました。

学校教育の充実を促進していくために、家庭・地域社会との協働を生かした取組の充実に向けて地域の教育力を生かし、魅力ある開かれた学校づくりに努めようと考えております。

これまで、会瀬学区コミュニティの皆様には、本校の教育活動に御理解をいただき、様々な面からご支援を頂戴して参りました。地域、学校、家庭が三位一体となり、更なる地域の活性化と地元の将来を担うであろう子どもたちが逞しく育つよう、職員一丸となって努力して参ります。

今後とも、ご指導、ご鞭撻をよろしくお願いします。

日立市立会瀬幼稚園
園長　吉久保 京子

この度の人事異動により、日立市立日立特別支援学校から赴任して参りました。

子供達が心弾ませて幼稚園に通い、主体的に活動して子供達の明るい笑顔が広がる保育、子供のよさを認め、自信をもって行動する子供の育成を行っていきたいと思います。

子供達は、会瀬学区の皆様と様々な行事で触れ合いを通して、たくさんのことを学んでいくことと思います。

皆様方にご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

会瀬青少年の家
所長　小圷　瑞男

この度、4月1日付けで会瀬青少年の家所長として勤務することになりました。

「目配り・気配り・思いやり」を忘れず施設利用者に少しでも満足していただけるよう、一生懸命取り組んでいきたいと考えております。

地域の皆様には、たくさんお世話になりますが、ご指導・ご協力をよろしくお願いいたします。

会瀬小学校ＰＴＡ
会長　豊田 義幸

この度、ＰＴＡ会長を務めさせていただく事になりました。日頃より地域の皆さまには、防犯・環境美化・子育て支援など多岐にわたりご支援を賜り、感謝申し上げます。

この素晴らしい地域環境の中で、子ども達が明るく元気にのびのびと成長出来ますよう微力ではありますが取り組んでまいります。

地域の皆さまには、これからも子ども達を温かく見守って頂きたいと思います。

今後ともご指導ご協力をお願い申し上げます。

子ども会育成連合会
会長　河野 敦

日頃より、地域の皆様には子ども会活動にご理解とご支援を戴き心より感謝申し上げます。この度、会瀬学区子ども会育成連合会の会長を務めさせて頂くことになりました。今年度も数多くの催し物を企画しております。その企画を通じて、子ども達と保護者の皆様、そして地域の皆様が良い思い出を作れます様、そして子ども達の育成に少しでもお役に立てます様尽力していきたいと存じます。今後ともご指導ご協力を宜しくお願い申し上げます。

ふるさと会瀬から

70年前の地図　その1

会瀬国民学校4年（1945年）まで一緒だった同窓生がふるさと会瀬への望郷の念が高まり、神田の古本街で見つけた昭和16年（1941年）発行の日立市全図を送ってきた。昭和16年10月発行とあるが12月には太平洋戦争が勃発している。地図類の発行には制約があったろうに、まして発行所は帝都日日新聞日立支局（今の毎日新聞）。日立市となったのが昭和14年9月、その年に第2次世界大戦が勃発している。戦時体制下に発行された地図がどのようなものなのか興味は尽きない。会瀬学区内の日立製作所の工場群（海岸工場といはれた）は昭和5年に竣工しているが地図にはない。工場が作られる以前、明治大正期の地勢が判ると思えば貴重な資料と言える。全体を見ても工場は日立に一つも記されていない不思議な地図である。市制実施間もない時期であるから多賀、久慈、日高、豊浦、十王は日立市には入っていない。

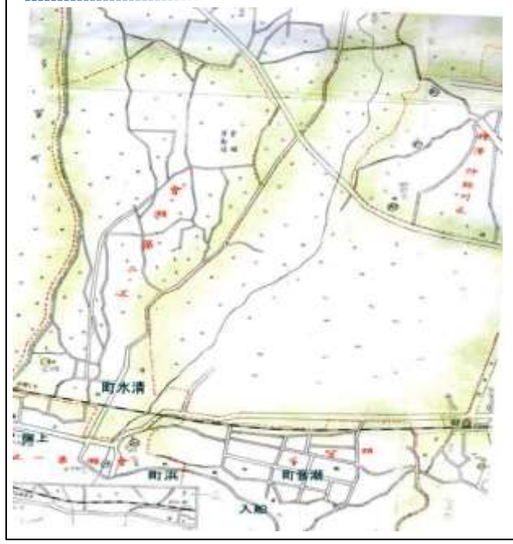
戦時体制下の昭和15年に国は隣保団結を図るため、町内会・部落会を全国的に整備することにした。日立市では全市を40区に分け、さらに町内会そして隣組を組織していった。会瀬学区内は相賀区・会瀬第1区・会瀬第2区の三区とした。

会瀬第1区は浜町と上宿（かみじゅく）の2町内に、会瀬2区は清水町と小字名を町内会名にした。各町内には10戸前後の隣保班（隣組）が組織された。

広い範囲の会瀬2区内には日立製作所の社宅や独身寮が現在の会瀬3・4丁目に存在していたが会社が管轄していた。社宅などは昭和9年から16年までに計327棟680戸の住宅が建設され、会瀬、山根、兎平、上の内に住宅群が出現した。（日立工場50年史より）この地図にはそれらの住宅群は記されていない。畑地は台地に、低地には水田が広く分布していた住宅建設以前の会瀬3・4丁目の土地の様子がよくわかる。

相賀区では古くからの舟入り町はそのままにし、新興住宅地の高台地区は、住民になじみのない小字名をとらずに町内会長と副会長が相談して潮音（しおね）町とした。常磐線開通後は避暑地、別荘地として知られ、波の音がよくきけた高台であった。海の情景を詠った和歌「遠くなり　近くに鳴る海の浜千鳥　鳴くね（音）に潮の　満ち干おぞもう」（護良親王）から潮音をとったともいう。

会瀬小学校の学区はこの3区であったが例外があった。会瀬2区の清水町だけが学区であり、現在の会瀬4丁目の社宅の子は助川小に通学していた。会瀬小学区になったのは戦後の昭和21年9月であった。



昭和16年当時学区内で舗装されていた道路は駅から日立製作所正門に続く道路だけでありその道路も正門から50ｍ南で舗装は切れていた。会瀬小学校が開校したのが昭和14年であり開校当時の学校周辺の様子がうかがえる貴重な地図でもある。

おおせ元気っ子クラブ活動開始

5月7日青少年育成部の事業おおせ元気クラブ3年生から6年生まで3年生41名の新人を含め122名が登録「地域の子どもは地域で育てる」体験活動を通して健やかに育ってほしいと思います。